



政策研究大学院大学・建築研究所共催シンポジウム
「カーボンニュートラルの実現に向けた建築技術」



趣 旨 : 2050年カーボンニュートラルが新政権において継承されることが首相の所信表明で打ち出されました。建築物関連の二酸化炭素の排出量は3分の1を占めており、建築技術が果たすべき役割は極めて大きいものがあります。最近の話題として、新築住宅の6割に太陽光発電を設置する、2025年までに住宅の省エネ基準適合義務化を行うなど、様々な目標が掲げられています。そこで、本シンポジウムでは、カーボンニュートラルの実現に向けた建築技術の現状および動向を、各分野の学識者に講演していただき、今後の展望について討議します。

日 時 : 2022年2月8日(火) 13:30-17:00
会 場 : オンライン開催 (ZOOM ウェビナー : 事前登録制)
主 催 : 国立大学法人政策研究大学院大学、国立研究開発法人建築研究所
後 援 : 国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人都市再生機構、独立行政法人住宅金融支援機構、建築研究開発コンソーシアム、一般社団法人日本建設業連合会、公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人空気調和・衛生工学会、公益社団法人日本建築士会連合会、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、一般財団法人日本建築センター、一般社団法人建築設備技術者協会、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構、一般社団法人日本建築構造技術者協会、一般財団法人ベターリビング、一般社団法人住宅生産団体連合会

プログラム

13:30-13:40 **主旨説明** : 足永 靖信 (建築研究所 持続可能プログラム PD)
高橋 正史 (政策研究大学院大学 教授)

13:40-16:50 講演及びパネルディスカッション

13:40-14:40 基調講演

田辺 新一 (早稲田大学 創造理工学部建築学科 教授)

「住宅・建築とカーボンニュートラル」

野口 貴文 (東京大学 大学院工学系研究科 教授)

「カーボンニュートラルに向けた建築資材の貢献」

14:40-14:55 報 告

(国土交通省 住宅局 参事官 (建築企画担当) 付 担当官)

「住宅・建築物に関する省エネ施策の動向」

14:55-15:05 休 憩

15:05-16:05 講 演

西澤 繁毅 (国土技術政策総合研究所 建築環境研究室 室長)

「住宅・建築物のエネルギー消費性能の算定方法の合理化に向けた検討」

三浦 尚志 (建築研究所 環境研究グループ 主任研究員)

「太陽光発電と住宅の省エネルギー」

植本 敬大 (建築研究所 材料研究グループ 上席研究員)

「中高層木造建築物の設計技術に関する研究開発」

松沢 晃一 (建築研究所 材料研究グループ 主任研究員)

「コンクリート分野におけるCO₂排出削減への取組み」

16:05-16:50 パネルディスカッション ー今後のカーボンニュートラルの実現に向けた建築技術についてー
モデレーター : 足永靖信 (前出)
パネラー : 田辺新一、野口貴文、西澤繁毅、三浦尚志、槌本敬大、松沢晃一
桑沢保夫 (建築研究所 環境研究グループ長)、鹿毛忠継 (建築研究所
材料研究グループ長)

16:55 情報提供
根谷 拓志 (建築研究所 企画部企画調査課)

17:00 閉 会

◆参加登録方法 (事前登録制) ◆ ※参加費無料

本シンポジウムは ZOOM ウェビナーで開催するため、PC、タブレット、スマートフォンにてご視聴いただけます (あらかじめ、ZOOM のアプリのインストールをお願いします。)

ご視聴をご希望の方は、下記 URL 又は QR コードから、2022 年 2 月 4 日 (金) までにお申込み下さい。
登録内容を確認の上、視聴用の URL 等をご連絡いたします。

なお、定員 (500 名) になり次第申込を締め切りとさせていただきますのでご了承下さい。

お申込 URL : https://zoom.us/webinar/register/WN_VT83s-SpRIi0zgSob30CIw

お問合せ 政策研究大学院大学 担当 : 高橋、菊池 (E-mail:zizoku@grips.ac.jp)

※本シンポジウムは、下記 CPD 制度の共通認定プログラムです。

建築 CPD 情報提供制度、JIACPD 制度、建築士会 CPD 制度、建築設備士関係団体 CPD 制度、
APEC アーキテクト、APEC エンジニア、建築・設備施工管理 CPD 制度、JSCA 建築構造士更新
評価点対象

講演者プロフィール

■ 基調講演・パネリスト



田辺 新一(たなべ しんいち)

早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 建築学科 教授

専門分野：建築環境学

1982年早稲田大学理工学部建築学科卒業、1984年同大学大学院博士前期課程修了。工学博士。1984年～1986年デンマーク工科大学暖房空調研究所研究員、1986年早稲田大学理工学部助手、1988年お茶の水女子大学家政学部専任講師、1992年同大学家政学部助教授、1992年～1993年カリフォルニア大学バークレー校環境計画研究所訪問研究員、1999年早稲田大学理工学部建築学科助教授、2001年同教授を経て、改編により2007年から早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科教授。2021年から日本建築学会会長、日本学術会議会員。第6次エネルギー基本計画の審議を行った資源エネルギー庁基本政策分科会委員など。



野口 貴文(のぐち たかふみ)

東京大学 大学院工学系研究科 建築学専攻 教授

専門分野：建築材料学・建築防火工学

1985年東京大学工学部建築学科卒業、1987年同大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。工学博士。1988年東京大学工学部助手、1997年カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、1998年東京大学大学院工学系研究科助教授、2005年～2007年西安建築科技大学客員教授、2006年～2009年中国科学技術大学客員教授、2008年東京大学大学院工学系研究科准教授、2014年より現職。2021年から日本建築学会副会長。ISO/TC71/SC8（コンクリートおよびコンクリート構造物の環境マネジメント）議長。

■ 講演・パネリスト



西澤 繁毅(にしざわ しげき)

国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築環境研究室 室長

専門分野：建築環境・設備

2002年北海道大学博士（工学）取得。2002年独立行政法人建築研究所 環境研究グループ研究員、2006年国土交通省国土技術政策総合研究所 建築研究部 研究官、2006年～2012年東京工業大学大学院 総合理工学研究科 環境理工学創造専攻 連携准教授（兼任）、2014年独立行政法人建築研究所 環境研究グループ 主任研究員、2021年より現職。



三浦 尚志(みうら ひさし)

国立研究開発法人 建築研究所 環境研究グループ 主任研究員

専門分野：建築環境、建築設備

2000年京都大学工学部建築学科卒業、2005年京都大学大学院工学研究科専攻終了、博士（工学）。建築研究所研究員、国土技術政策総合研究所主任研究官を経て2016年より現職。建築物省エネ法の計算プログラム等、住宅のエネルギー性能の評価法の作成に取り組んでいる。



槌本 敬大(つちもと たかひろ)

国立研究開発法人 建築研究所 材料研究グループ 上席研究員

専門分野：木質構造、木質構造用材料、木造建築の耐久性評価

1990年東京大学農学部林産学科卒業、1994年東京大学農学部林産学科助手、1998年博士（農学）取得。1999年建築研究所研究員、2004年国土交通省国土技術政策総合研究所建築研究部主任研究官、2009年国土交通省国土技術政策総合研究所総合技術政策研究センター評価システム研究室長を経て2013年より現職。木造建築物の構造設計技術、耐久性評価技術等に関する研究開発に取り組んでいる。



松沢 晃一(まつざわ こういち)

国立研究開発法人 建築研究所 材料研究グループ 主任研究員

専門分野：建築材料、コンクリート工学

2004年東京都立大学大学院修了、東急建設、首都大学東京を経て2016年より現職。博士（工学）。現在は、主に鉄筋コンクリート造建築物の耐久性に関する研究に取り組んでいる。

■パネリスト



桑沢 保夫（くわさわ やすお）

国立研究開発法人 建築研究所 環境研究グループ長

専門分野：省エネルギー、室内温熱環境、空気質

1992年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、東京大学工学部助手、国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築研究部 室長、独立行政法人 建築研究所 環境研究グループ 上席研究員、国土交通省 国土技術政策総合研究所 住宅研究部 住宅性能研究官を経て、2021年より現職。



鹿毛 忠継（かげ ただつぐ）

国立研究開発法人 建築研究所 材料研究グループ長

専門分野：コンクリート工学

平成2年建設省入省、建築研究所、国土交通省国土技術政策総合研究所を経て、2018年より現職。

■モデレーター



足永 靖信（あしえ やすのぶ）

国立研究開発法人 建築研究所 研究専門役

専門分野：都市建築環境工学

1991年北海道大学大学院工学研究科 博士後期課程修了（工学博士）。1991年建設省（当時）建築研究所研究員、2018年国立研究開発法人 建築研究所環境研究グループ長を経て、2021年より国立研究開発法人 建築研究所 研究専門役。